

## 第3回懇話会における主なご意見と中間案への反映

No	項目	中間案頁	委員ご意見	中間案への反映
1	構成	表紙	コンセプトを表紙に持ってきたらいい。タイトルだけでは伝わりづらい。	表紙にエリアのコンセプトも記載する。
2	構成		コンセプトをはじめの方に持ってきた方がよい。	
3	構成		計画の位置付け、エリアのデータなど、参考資料として、後ろに載せてはどうか。(コンセプトにたどりつくまでがボリューム多い)	計画の位置付け、エリアのデータ、【コラム】団体の声は、参考資料として第4章の後ろに移す。
4	表紙	表紙	パース図があった方がよい。	鳥瞰図を表紙に掲載する(ビジョン内への再掲は行わない)
5	エリアの範囲	2	黒枠が青葉山エリアに見えるかも。初めて見る人にも分かるように工夫必要。	黒枠を外し、エリアの範囲に薄緑色を付ける。
6	年表	7	「里山」選定を年表に入れてはどうか。	本文のみの記載にとどめる(年表に記載している内容とのレベル感を考慮)
7	コンセプト	16	左下の図について、自然、学術、MICEなど○の大きさが全部同じだが、自然と文化は他を包含するように大きくしてはどうか。	この図は、エリアが有する資源を概念的に表したものであり、各資源の強弱を付けるという意味合いは無いため、原案どおりとする。
8	コンセプト	16	「特別な」と言い切らない方がいいのではないかと。「日常と非日常が交流する」とか。複合施設懇話会においても、「日常と特別な時間」というようなコメントがあった。	コンセプトに掲げる「特別な」とは、特別な時しか訪れられないという意味ではなく、このエリアが有する価値(各種資源)を生かしたエリア固有の時間や空間を「特別な」と表現しているもの。市民の「日常」においても、散歩やジョギングなど、エリアの「特別な」さを味わうことを想定している。 なお、「特別な時間と空間」が「特別な時」と誤解されないよう、「空間」と「時間」の順を入れ替え、～特別な空間と時間を青葉山エリアで～と修正する。

No	項目	中間案 頁	委員ご意見	中間案への反映
9	コンセプト	16	「ゾーン」という言葉は範囲が狭いのではないか。 (例) 杜の都の「歴史」と「今」と「未来」をつなぐシンボルエリア	コンセプトを以下のとおり修正する。 杜の都の「歴史」と「今」と「未来」をつなぐ ～特別な空間と時間を青葉山エリアで～
10	将来像	17	「観光」という言葉はいかがなものか。「集客交流」の要素を表してはどうか。	「 <u>市民や来訪者を惹きつけ、仙台の観光交流をリードする</u> 」、「 <u>学都の知と先端技術で未来社会を牽引する</u> 」に修正する。
11	将来像	17	「～観光の拠点」だけ体言止め。 (例) 牽引する、質を高める	
12	将来像	17	歩行環境の整備の写真が2枚→親水イベントの写真も入れてはどうか。	写真差替。
13	将来像	18	市民がイノベーションを起こすように読める。「市民と来訪者が一緒に、共に」ということ。	「市民や来訪者による」を削除し、後段を「 <u>市民や来訪者にも開かれ…</u> 」とする。(第2回懇話会資料案に戻す。)
14	回遊性	16 ・ 19	「回遊の創出」の取組薄い。「回遊性の向上」との再掲でもいいので、しっかり書くべき。 (例) 西公園が分断されている。「つなぐエリア」がつながっていない…(こうした課題も…)	・「回遊性の向上」に唐突感があるため、P16のコンセプトの考え方の4点目に回遊性に係る記載を追記する。 ・P19のリード文に「回遊性の向上」の重要性について、明示する。
15	鳥瞰図	9	青葉山はコラムにも記載し厚くなったが、広瀬川もエリアの大きな特徴。広瀬川をもっと際立たせる。	広瀬川に係るコラムを追加する。
16	過ごし方	20	「子育て家庭」、「若者グループ」など属性と、「文化芸術を味わう」など混在している。(例) 青葉山エンタメを楽しむ、先端技術を学ぶ、親子で楽しむ	「I 親子で過ごす」、「II 青葉山を楽しむ」、「VI 先端技術を学ぶ」に修正する。
17	過ごし方	20	青葉山の後に定禅寺通へ足を延ばしたり、街中で買い物をするイメージを盛り込んではどうか。	IIIを「都心へ移動し、中心部商店街で買い物」、IVを「定禅寺通へ」と修正する。

No	項目	中間案 委員	委員ご意見	中間案への反映
18	過ぎ方	20	Ⅲ（観光）とⅣ（文化）を統合してもいいのではないかと（昭和っぽい）。	<p>・ P21の地図上に、イメージ図の方向・地点を示す視点を追加する。</p> <p>・ 6つの事例については、楽しみ方、過ぎ方の一例であることなどから、上記修正の他は原案のとおりとする。</p>
19	過ぎ方	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民の日常があってもいい（文化が一つ、自然が一つ（毎日散歩に行くとか））</li> <li>・ I、IIは交通手段が分かるように（子育て世代は車移動だろう）</li> </ul>	
20	過ぎ方	21	ルートがこれしかないように見える。地図上にイメージ図の目線や歩行者動線を書くとか。	
21	過ぎ方	22～	青葉山公園は、追廻地区の歴史が分かるようにしてはどうか、複合施設に防災の要素が薄い など	
22	過ぎ方		最初にイメージ図を持ってきてもいいのではないかと。	
23	過ぎ方		イメージ図について、図面に落とした方が良い。 （例）重要になるのは川。西公園と川をどうつなげるか。複合施設については、川を意識して作るとか。	
24	過ぎ方	21	西公園を通るルートにしてほしい。	ご意見のとおり修正する。
25	イメージ図	22	植栽はこれで間違いはないかと。	仙台城跡整備の所管課（文化財課）に確認しながら作図を進めているところであり、原案のとおりとする。
26	イメージ図	22～	イメージ図の中で誰がどのように活躍しているかが見えるといい（自分の関わり方が見える）。	イメージ図の解説を詳細に記載することにより、イメージが限定される懸念もあることから、解説は最小限にとどめ、原案のとおりとする。

No	項目	中間案 頁	委員ご意見	中間案への反映
27	イメージ図	22～	イメージ図について。世代が偏っている（高齢者少ない）、外国人も多様性あり、車いすの人などもいるといいのではないかなど	ご意見のとおり、イメージ図の一部を修正する（P24の外国人を黒人に変更、P25に車いすの方を追加、P26に高齢の方を増やす）。
28	イメージ図	23	川床の取組もイメージ図に加えてはどうか。	P17の「取組の方向性」欄に写真を追加することとし、イメージ図については原案のとおりとする。
29	イメージ図	24	キックボードが走る通行帯を色分けしてはどうか。仙台は進んでいるという印象を与える。	電動キックボードは、道路交通法上、原動機付自転車と同じ扱いとなるものもあり、その場合、通行は車道に限定される（自転車専用の通行帯や自転車歩行者道の通行はできない）ため、原案のとおりとする。
30	イメージ図	24	ダテバイクがあってもいい。	電動キックボードとダテバイクが同じような所（車道左端）を走るような構図となり、安全面の懸念があることから、原案のとおりとする。
31	イメージ図	26	仙台らしさが無い。	現時点で、施設内や周辺の様子を詳細に表現することは難しいことから、原案のとおりとする。
32	イメージ図	27	鳥が飛んでいる様子を追加してはいかがか。	ご意見のとおり追記する。
33	イメージ図	28	七夕飾りを描いたら仙台らしさが出るのではないかな。	緑彩館内に七夕飾りの展示が予定されていることなどから、屋外の装飾については見合わせ、原案のとおりとする。
34	実現に向けて	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>「大学」はどういう位置付けか。</li> <li>主体の配置についても配慮した方がよい。</li> </ul>	<p>エリアにおいて、大学は、施設管理者、事業実施主体、土地所有者として様々な役割を有している。</p> <p>各主体の配置については、行政（仙台市）がまずは本ビジョンを通して、主体的に取り組みを進めていくことが必要と考えることから、原案のとおりとする。</p>
35	実現に向けて	30	大学は「学（アカデミア）」として、他の主体とは別であり、原案のとおり残すべき。	